

ニュースリリース
報道関係各位

NCホールディングス株式会社

インフラ現場で導入が広がる次世代技術を一挙公開！

自社開発のフリーラインコンベヤ(1/3スケール模型)や
運転管理に必要なセンシング技術を「九州建設開発総合展」に出展

大型ベルトコンベヤのトップメーカーであるNCホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 梶原 浩規）のグループ会社である日本コンベヤ株式会社（以下、当社）は、2026年6月24日（水）、25日（木）にマリンメッセ福岡で開催される「九州建設開発総合展 2026」に出展いたします。

第6回 九州建設開発総合展

会期 2026. 6.24 (水)
→ 6.25 (木) **会場** マリンメッセ福岡



過去展示会場の様子（2025年11月）

【展示内容】

1. 次世代型仮設コンベヤ「フリーラインコンベヤ」1/3スケール可動模型
2. 現場に行かずに全体を把握できる「コンベヤ遠隔監視システム」
3. レーザーで稼働中のベルトの傷や摩耗を非接触管理する「ベルト探傷装置」
4. 特許出願中・意匠登録済「太陽光発電パネル付きベルトカバー」

【展示概要】

1. 次世代型仮設コンベヤ「フリーラインコンベヤ」1/3 スケール模型

通常は目にするのが難しい大型コンベヤを、現場と同じベルト挙動を表現した1/3スケールの模型でリアルにご体感いただけます。

本製品の最大の強み（従来型コンベヤと比較して）

- ① **搬送ルート設計の自由度が飛躍的に向上**：R=60mまでのカーブ搬送が可能となり地形に沿った自由度の高い連続搬送ルートの設計を実現します。
- ② **施工性の向上**：本体フレームに汎用足場材（枠組み足場や単管）を使用した設計により、据付工事に必要だった整地や道路工事、重機使用の工程を削減します。
- ③ **コストの削減**：ダンプ搬送を減らすことによりCO2排出量を大きく削減し、搬送計画全体の省エネ効果を大きく改善します。また工事の重機使用や鋼材重量が減ることにより、システム全体のコストを低減し、環境と現場に優しい省力化を実現します。

ブースでは、稼働モデルを用いてカーブ性能や運用事例をご説明させていただきます。



2. 現場に行かずに全体を把握できる「コンベヤ遠隔監視システム」

コンベヤの稼働状況をリモートでリアルタイムに監視できる本システムは、コンベヤの運転状況をはじめ、電動機の温度や電流、振動など、お客様のニーズに合わせて様々なセンサ情報をクラウドサーバーに集約します。

いつでも、どこでも稼働状況を監視することが可能となり、現場での点検人員を削減できるとともに、万が一のトラブル発生時にも即座に状況を把握できるようになります。

また、現場での使いやすさを重視し、必要機能に狙いを定めたシンプルな構成により、直感的な操作での装置監視を実現します。

さらに、異常時には上限・下限のアラーム設定に基づき即座に警告メールを送信する機能にも対応しており、迅速な初動対応を強力にサポートします。

ブースでは、プロモーション映像をご用意しています。

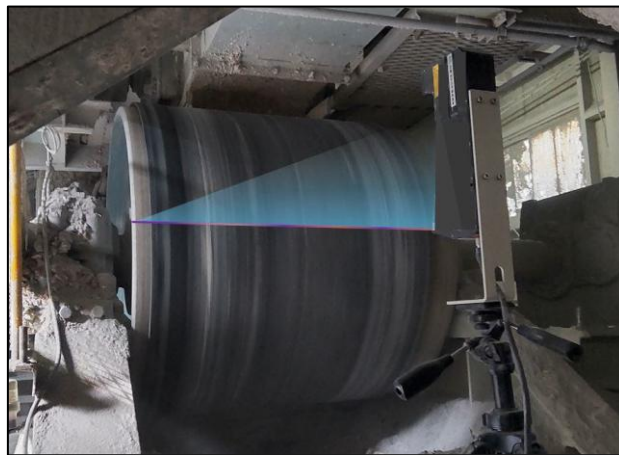


データ画面の一例

3. レーザーで稼働中のベルトの傷や摩耗を非接触管理する「ベルト探傷装置」

ベルトコンベヤの最重要部品であるゴムベルトの傷や摩耗は重大な事故に直結する可能性があります。本システムはコンベヤを安定稼働させるうえで必要な運転管理とメンテナンスを実現します。

稼働中のベルト表面にレーザーを照射し、表面の凹凸状況をスキャンすることにより、傷の外観だけでなく「深さ」による判別が可能です。検出した傷を4種類に分類し、緊急度に応じた対応が設定できます。また、同時にベルト全長の厚みも計測し、経年摩耗の状況も一目で把握できます。検出したデータは、詳細な「傷マッピング図」として可視化され、いままで検査員の目視による点での外観計測が、レーザー照射による面での機械計測になることでメンテナンスの精度と効率が大幅アップします。異常検知時にはメール通知機能にも対応しており、重大なトラブルを未然に防ぐスマートな保全活動をバックアップします。



ベルト探傷装置

4. 特許出願中・意匠登録済「太陽光発電パネル付きベルトカバー」

本システムは、搬送物の保護機能と発電効率を極限まで追求した、太陽光発電パネル付きベルトカバーです。コンベヤカバーの湾曲した表面に沿って、次世代技術であるペロブスカイトなどの太陽電池を用いたソーラーパネルを複数配置することにより、新たな設置用地を用意することなく、コンベヤの長さを活かした大規模な発電が可能になります。最大の特長は、災害等の停電時に発揮されるBCP（事業継続計画）対応力です。照明の確保や復旧作業用電源など、初動対応に特化した独立電源網を構築。自律的な電源確保が、復旧作業の着手スピード、ひいてはサプライチェーン全体の回復速度を劇的に向上させます。さらに、日々の動力源確保としても活用が期待されます。



イメージ図

□展示会概要

展示会名：九州建設開発総合展 2026

会 期：2026年6月24日（水）、25日（木）10:00～17:00（最終日は16:00まで）

会 場：マリンメッセ福岡 A 館 〒812-0031 福岡県福岡市博多区沖浜町7-1

サ イ ト：<https://mente.jma.or.jp/kyusyu/>

※本展示会場への入場には、来場登録が必須でございます。

スムーズな来場のためにも、事前の来場登録と来場者バッジの発券を推奨いたします。

ご協力をお願い申し上げます。

以上

■NC ホールディングス株式会社 会社概要

（英文名：NC Holdings Co., Ltd.）

代 表 者 代表取締役社長 梶原 浩規

設 立 2024年5月22日

所 在 地 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目6番地3 神田三菱ビル5階

資 本 金 300,025,000 円

事業内容 搬送システム事業・立体駐車場事業・再生エネルギー事業を行う子会社等の経営管理及びそれに付帯又は関連する業務。社会インフラを支える独自の技術力と高度なエンジニアリング能力を強みに、持続可能な社会の実現に貢献しています。

■日本コンベヤ株式会社 会社概要

本社所在地 東京都千代田区神田鍛冶町三丁目6番地3 神田三菱ビル5階

事業内容 物流搬送システムの改善、改良、低コスト化、大量搬送を実現した各種コンベヤを開発・製造。また、立体駐車装置・機械式駐車装置におけるフロントランナーとして優れた技術とサービスで販売、設計、製造、運営委託管理業務などを展開しています。さらに、再生可能エネルギーの導入推進を目指した取り組みなど、幅広い分野で社会に貢献しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

NC ホールディングス株式会社

経営管理本部 人事総務部 古谷のど佳

TEL 03-6625-0001

furuya_nodoka@conveyor.co.jp